



千葉県の国賠同盟、参院選で平和と暮らしを守るため大活躍

渡辺きよ子副会長が日本共産党の比例代表候補、さいとう和子女性部長が選挙区候補としてたたかった参院選。県本部から2人の候補者をだすという名誉ある体験に遭遇し、会員は各地で大奮闘。県本部も候補者との合同宣伝を計画、写真は7月5日、J市川駅北口での合同宣伝。同盟員はゼッケンをつけ、伊藤千代子の写真と「軍備拡大は戦争への道 憲法守る議席を!」と書いた横断幕を掲げて宣伝に参加しました。(写真は小松敦、文は七里一司)

参院選でのそれぞれの立場でのご奮闘、お疲れさまでした。県本部としては、女性部長のさいとう和子さんを日本共産



治安維持法国賠同盟
千葉県本部会長
小松 実

今こそ、「不屈」
の精神で平和と
民主主義、憲法
を守りぬくた
たかいを
参院選の
結果を受けて――

党の千葉選挙区候補に、副会長の渡辺きよ子さんを同比例代表候補に送り出すという、たいへんな名誉と役割を担った選挙になりました。県本部として初めて、同盟ののぼりを立て、ゼッケンをつけ、両候補応援の街頭宣伝にも立ちました。

結果は、残念なものではありませんでしたが、若い世代や市民ボランティアを結集した東京選挙区での日本共産党の山添拓候補の勝利、知事選を目前にした沖縄での「オール沖縄」の伊波洋一候補の勝利は、きわめて教訓に富んだ今後に生きる成果を残したのではないのでしょうか。

同時に今度の選挙は、政治を変えるためには、やはり「市民と野党の共闘」のしつかりとした本格的な前進以外にないということも明らかにしました。今年も、同盟の国会請願に100人以上の議員さんたちが、紹介議員となってくれて

(次ページにつづく)



千葉県版

NO.410

2022年8月15日

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
千葉県本部

〒260-0854

千葉市中央区

長洲1-10-8

自治体福祉

センター1階

電話

090-7909-0849

(小松 敦)

FAX

043-441-5094

Eメール

a-komatu@jk9.

so-net. ne. jp

千葉県「版」編集部

連絡先 七里一司

電話・FAX

047-314-8714

治安維持法国賠同盟

千葉県本部

事務局から

7月26日、第3回県本部理事会が開かれました。

冒頭、参院選で日本共産党の比例代表候補として奮闘した渡邊喜代子副会長があいさつしました。渡邊さんは、「今回このような機会をあたえていただき、私の人生で忘れることのできない貴重な体験となりました。多くのの方の暖かいご支援が大きな励みになり感謝しております。ありがとうございます。ございました」と語りました。

1、会員拡大

▽上映会での会員拡大、また、会員、支部は、日常の結びつきなどを活かして拡大に取り組む。

2、国賠署名

▽会員の日常の結びつきを活かした署名集め、映画上映での署名のお願い、主催団体の

了解をもらい県母親大会での署名の取り組みを検討する。また、県・支部は団体要請などを検討する。

3、映画「伊藤千代子の生涯」の取り組み

▽今後予定されている映画上映成功のため全力を尽くす。

4、犠牲者名簿の普及と出版記念講演会

▽「ちば民報」に特集記事、「しんぶん赤旗」にも記事が掲載される。会員や知人・友人に普及を呼びかける。

▽出版記念講演会と飯島喜美顕彰碑について、北部地区委員会と懇談し、今後の取り組みをきめる。

5、報告事項

▽関東ブロック交流会が、10月16日～17日、八ヶ岳清里高原で開催される。

▽7月19日、「平和のための戦争展ちば」実行委員会が開

(前ページのつづき)
います。共闘のかすがいいとして、の同盟の役割は、いよいよ重要になっていきます。

衆・参で改憲派が三分の二を超える勢力を持つに至りましたが、今こそ、先人たちから引き継ぐ「不屈」の精神を発揮して、平和と民主主義、憲法を守りぬくために、お互い全力を尽くしていきましょう。

かれ、渡邊喜代子、高橋たつ子の両氏が参加した。

▽7月19日、県本部三役会が開かれ、第3回理事会提出の議題、報告事項を審議した。▽7月19日、「不屈」発送を行った。参加者は、植村恵美子、小松実、小松敦、七里一司の各氏。

6、理事会などの日程

▽三役会と「不屈」発送は、8月11日(木)、9月13日(火)。
▽理事会は、8月16日(火)、9月20日(火)。

房総

安倍晋三元首相銃撃事件を機に、自民党と旧統一教会(世界平和統一家庭連合)の癒着が浮上◆信者たちは文鮮明・韓鶴子夫妻を「真の父母様」と仰ぎ、ひたすら「祝福」を求めて組織で与えられた活動に励む。それは伝道や霊感商法部門だったり、勝共連合傘下組織だったりさまざま◆「霊界で苦しむ祖先を救うため」と多額の献金をくり返し「神が求めているから」と不動産を担保に入れて金をつくる。「これを授けられないと救われない」と印鑑や壺を売りつけ、福祉や難民救済を装ってカンパを集め訪問販売をする◆全国霊感商法対策弁護士連絡会の資料では、1987～2021年で相談件数は2万8236件、被害額約1181億円。これに消費者センターが18年までの集計をあわせると、相談件数3万4537件、被害額1237億円になる。しかも、これは被害の一部だという◆旧統一教会と自民党との癒着が注目されているが、その実態を徹底的に追求することが求められる。(七)

会員拡大

会員到達は、515名

7月は、参院選の取り組みの中で、候補者の渡邊喜代子副会長と七里一司副会長が各1名。市浦支部総会で1名。松鎌支部のNHK特集「自由はこうして奪われた」治安維持法10万人の記録―上映会で2名が入会し、月の拡大は5名でした。退会はありませんでしたので、会員到達は515名となりました。

国賠署名

署名数は、287筆

コロナ感染拡大と猛暑のなか、会員のみなさんの奮闘で今月は46筆増え、署名数は287筆となりました。

夏季募金

37人の方から

8万8千円

参院選やコロナ・熱中対策で大変な中、37人の方から88000円の夏季募金をいただきました。ありがとうございます。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟千葉県本部発行

『特高警察が踏み』

にじった人々の記録

―千葉県編―

発刊されました

本書は、編集長の玉川寛治さんを中心に編集委員会の3年にわたるとりくみで、ようやく完成しました。

「ここに記載された犠牲者の総数は、217名に及びますが、お一人おひとりの事績について詳細をたどることはできませんでした。また、今回の調査に

頒価 2500円

ご注文は、地域の同盟支部か県本部へお願いします。

県本部FAX

043-441-5094



・6月21日、我孫子市「千代子」上映会 20筆
・6月22日、船橋市 7筆
川村潤

治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟千葉県本部理事会
は、7月26日、「安倍晋三元
首相の『国葬』に断固反対し、
中止を求める」との声明を決
議しました。

「声明」

安倍晋三元

首相の「国葬」

に断固反対し 中止を求める

2022年7月26日

治安維持法犠牲者国家
賠償要求同盟千葉県本部

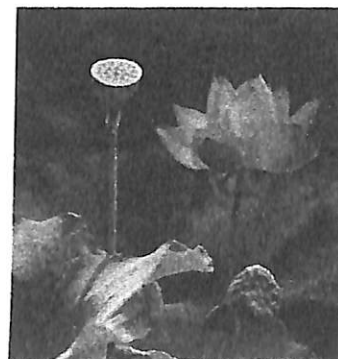
岸田内閣は、安倍晋三元首
相の国葬を9月27日に、日本
武道館で行うことを閣議決定
した。

岸田首相は、国葬の理由とし
て「卓越したリーダーシップ
と実行力」「東日本大震災か
らの復興、日本経済の再生、
日米関係を基軸とした外交の
展開等の大きな実績」などを
あげている。しかし、安倍政権
のもとでは、憲法9条の改定が
掲げられ、歴代政府の憲法解
釈を覆す集団的自衛権の行
使容認や安保法制の強行など
「戦争する国」づくりが進めら
れてきた。「アベノミクス」によ
って格差と貧困が広がり、異次
元の金融緩和による異常円高
で物価高騰が引き起こされて
きた。さらに、「森友」「加計」
「桜を見る会」などの疑惑も相
次いで噴出するなど、国政私
物化が繰り返されてきた。

し、賛美・礼賛することになる。をどう変えたのかの説明もな
また、国葬は、安倍氏に対す
る弔意を国民に強制すること
につながる懸念がある。
これらは、日本国憲法19条
の思想・良心の自由、内心の自
由の乱暴な侵害であり、国民
主権、民主主義の原則と相容
れないものである。
そもそも国葬については、法
的根拠がない。岸田首相は、
内閣設置法を根拠に挙げるが、
それは、内閣府の所掌事務に
「国の儀式」が明記されている
というだけであり、根拠にな
らない。事実、佐藤栄作元首
相の死去の際には、「法的根拠
がない」との判断から国葬は見
送られた。今回、その法解釈

蓮(はす)

夏になると咲く蓮の花。池の
中から真つ直ぐ伸びて咲く姿
は、なんとも神秘的です。



国葬に反対する、あるいは疑
問視する世論・論調・運動は、
日々広がっている。とりわけ、
地方紙の調査では、反対が中
日新聞で76.4%、南日本新
聞で72.2%にのぼっている。
当の自民党の地方議員からさ
え、疑問・批判の声が表明さ
れている。
私たちは、岸田内閣が、法的
根拠もあいまいなまま、安倍
晋三元首相の「国葬」を閣議
決定したこと強く抗議する
とともに、「国葬」実施に断固
反対し、中止を求めるもので
ある。

参議院選挙

酷暑のなか大奮闘した

渡邊喜代子さん

さいとう和子さん



「訴え、

胸にしみたよ」と

行く先々で

励まされた



国賠同盟
千葉県本部副会長
渡邊喜代子

参院選お疲れさまでした。
今回、参院選挙に比例の候
補者として動いて、貢献したね
といえる結果にならず、たいへ
ん残念でしたがとても有意義
な時間を過ごすことができました。

小松会長より、『あの物言え
ぬ暗黒の時代に平和と民主主
義をかかげて頑張った伊藤千
代子の映画上映に関わったも
のとして、受けないという選択
肢はないよね。貴方の人生の輝
かしい一ページになるはず』と
励めていただきました。

戦争はいや、核兵器はだめ、

誰もがより良い医療と福祉を
受けられるようにと訴えまし
た。父の、「戦争は人を狂わせ
る。まともな神経で人殺しは
できない。二度と戦争をしては
だめだ」の口癖や、中学1年生
のために文部省が発行した「新
しい憲法のはなし」の戦争放棄
のくだりは、胸にしみたよと行
く先々で支援者の方に励まし
ていただきました。

国賠同盟で学んだ、反省し
ない国だからまた間違いを繰
り返す、二度と物言えぬ国に
してはいけない。二度と戦争を

「わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—



《県内各地の

上映会スケジュール》

8月20日 香取市

8月21日 香取市 佐原文化会館

8月27日 山田公民館

8月27日 木更津市

11月25日 船橋市 交流センター

勤労市民センター

市川浦安支部
第9回総会

市川浦安支部は、7月22日浦安中央公民館で支部総会を開きました。



市川浦安支部第9回総会

田中長義支部長があいさつし、伊藤政行事務局長が「活動報告と活動方針」を提案しました。

伊藤さんは、「今年度の活動で最も力を注いだのは、「わが

「わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

上映会

浦安・市川4会場に

471名

先人に血のにじむ努力で
今の平和がある

市浦上映実行
委員会事務局長

伊藤政行

冒頭は、「1928年(昭和3年)3月15日」の字幕から息をのむシーンが。共産党の秘密印刷所を出た23歳の伊藤千代子(井上百合子)は、張り込んでいた特高警察に逮捕される。

戦前の絶対主義的天皇制の下、治安維持法による残酷な弾圧に屈せずたたかった伊藤千代子の24年の生涯を描いた桂壮三郎・監督作品です。

5月に浦安・市川の4会場で上映会が開催され、417人



写真は、八幡会場での受付と会場であいさつする田中長義実行委員長

が鑑賞し、51名の方から映画を観終わった感想を寄せていただきました。



あいさつをする田中長義支部長

青春つきるとも」の映画上映でした。原作者の藤田廣登さんの「講演会」を2回開催し、映画の「製作協力券」は737枚

「活動報告と活動方針」を提案する
伊藤政行事務局長



を普及し、4会場で471名が鑑賞、成功させました。
また、今年度は、80名の支部にし、請願署名は1000筆をめざし全力を尽くしました。う。そして、「渡政墓前祭」、女性部主催の企画などを成功させました。
また選挙結果をふまえ『ふたたび戦争と暗黒政治を許さない』の同盟のスローガンは、目の前に迫った課題になっていきます。先輩たちの意思を受け継ぎ、憲法を生かした未来を切り開くためにともに頑張りましょう」と訴えました。
このあと、伊達正敏さんから会計報告がされ、質疑・討論に入りしました。活発な質疑・討論がされ、今年度の活動を積極的に展開しようという意気込みにあふれました。
「活動報告と活動方針」「会計報告」が採択され、支部役員が選出されました。新役員は次の通りです。

支部長 田中長義
副支部長 七里一司

竹内喜忠
安達絹恵
(女性部長)

塙 治子

(学習担当・女性副部長)

伊藤政行

(「不屈」担当)

事務局次長 高橋タツ子
(平和のための戦争展
ば・母親大会)

会計

安達絹恵

伊達政敏

阿部武弘

理事

(渡辺政之輔「墓前祭」)

清水みな子

美勢麻里

浅野ふみ子

野原幸雄

(文 七里一司)



映画「わが青春つきるとも —伊藤千代子の生涯—」上映会のまとめ

治安維持法同盟市川・浦安支部

		行徳会場	浦安会場	八幡会場(1)	八幡会場(2)	計
上 映 期 日		5月14日(土)	5月22日(日)	5月24日(火)	5月31日(火)	4 会場
入 場 者 数(人)		71	192	160	48	471
署 名 数(筆)		13	30	32	20	95
カ ン パ		5000円		1000円	1000円	7000円
入 会 者(人)			2	1		3
感想を寄せた人		8	18	14	11	51
書 籍 販 売	時代の証言者	1	6	4		11
	漫画「伊藤千代子」	2	2	4	2	10
	地しばりの花	6	3	1	4	14
	飯島喜美		2			2
	渡辺政之輔		1		1	2
	(計)	9冊	14冊	9冊	7冊	39冊

製作協力券普及(入金)枚数 735枚

白井市での製作 協力・上映運動に ついて

上坂春江

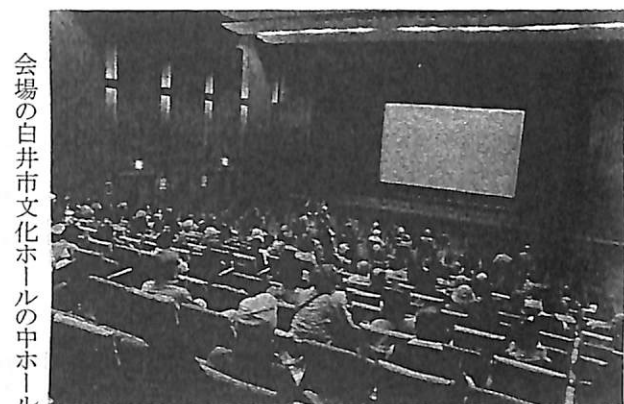


白井市での上映に至るきっかけは、白井平和委員会のイベントに伊藤千代子関係の書籍や講演会の案内を持ってきた方との出会いでした。

本を読んで伊藤千代子さんという素晴らしい人に強く惹かれました。

千葉市で開かれた藤田廣登さんの講演会に仲間と参加して電車賃も高いし地元でこの映画を皆で観られたらいいな、1口1000円で100人集めるのは何とかなるんじゃないかと思いました。

そのために白井平和委員会の仲間である池田さん、松永さんなどに協力を仰ぎ観る会を



会場の白井市文化ホールの中ホール

発足させました。

発起人、賛同人、賛同団体を募りながら上映の日程を6月4日、5日の会場を白井市文化ホール中ホールとしました。大ホールは耐震構造に不安があり中ホール2日間になりました。

白井市、白井市教育委員会にも後援を依頼しました。ポスター張ったりするのに話が通りやすいのです。

たくさんの方に観ていただきたい、しかし密になつてはまず

い、その不安から5日は午前、午後の2回上映として分散を図りました。観客数のバランスをとることを工夫しました。

結果、3回で延べ168名の観客(内当日券34名)、スタッフは延べ約40名、アンケートは59枚でした。

あいさつする藤田廣登さん



4日に藤田廣登さんも来てくださり、この日で観客数2000人になったとお話くださいました。千葉で2000人に

睡蓮(すいれん)

(写真 七里)



「わが青春つきるとも」 我孫子市での 上映会を終えて

千葉県我孫子市

上映実行委員会

澁谷廣和

6月15日の昼夜2回の上映会は250名の参加でした。私たちの力でここまでできたのは、今までの経験からして画期的なことです。

昨年12月に3人が呼びかけ人になり、市内の諸団体と個人に「上映実行委員会」の結成を呼びかけたのが始まりです。呼びかけの要旨は「千代子さんがけで闘ったのは、絶対主義天皇制反対、自由と男女平等、侵略戦争反対、これらは現憲法の基礎をなすもの。いま自由や民主主義の危機があり『戦争できる国』づくりも進んでいる。100年前の先人の闘いに学ぼう。」

2月初めに11名で上映実行委員会結成、伊藤千代子については余り知らない私たちがでしたが、勉強しながら上映まで月1回で5回の会議を開きました。

またすでに組み込まれていた千葉県国賠同盟の「上映協力券」での入場も可能とした上で、実行委員会独自の「前売券」を作りしました。これを実行委員が各種の団体などにも依頼し、広く努力したことが成功の要因だと思っています。

ただ高校生以下は無料にしたのに、殆ど入場がなかったのは私たちの力不足でした。

上映会は費用がかかりましたが、大ホールと大画面で好評でした。

次に寄せられた感想のいくつか。

「友人とあんな風に強く生きられるかという話になりましたが、とても私たちにはできないねいうことになりました」「いまの私たちは先人の犠牲のも

「海ほたる」にある

建設記念碑

カッターフェイス

東京湾アクアラインができて25年。私は一度も行ったことがありませんでしたが、最近、行く機会がありました。

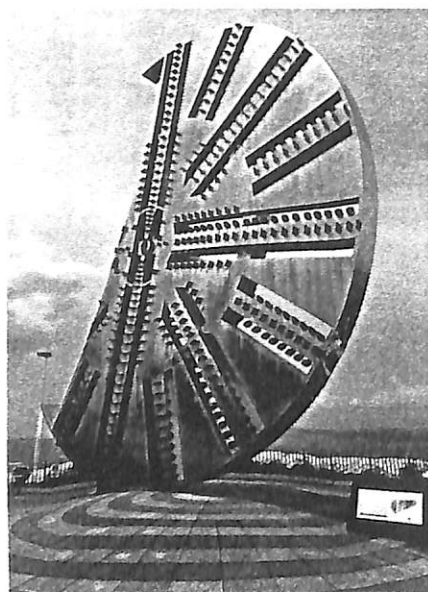
東京湾アクアラインにある海

と生活していることを実感しました「戦前にこれ程強く権力と闘った女性が多かったことを素晴らしく感じました」

「気高く清冽、周りの人々をも浄化した生涯でした。身を正されました」

ほたるに、海底トンネルを掘り進んだシールドマシンの復元したものがあります。見上げるほど大きい、これで全長9.5キロメートルの2本のトンネルを完成させたのだという。マシンの直径は14メートルと世界最大規模だそうだ。

(写真と文 七里)



「わが青春つき るとも」上映会 を振り返って

—感想次々と—



高橋妙子

治安維持法国賠同盟
松戸鎌ヶ谷支部
事務局長



常盤平市民センター

6月17日(金)常盤平市民センターにおいて、5月4日常盤平市民センターホールで上映された、「わが青春つきるとも」を鑑賞された方々(70

人)にハガキでお誘いをし、上映会を振り返り感想や批評など語り合うミニツイを行いました。

はじめに、「伊藤千代子の生涯」を今一度みたいという参加者のリクエストに応え、上映会のPR版を改めて視聴しました。

映画のシーンを思い出しながら批評や感想が次々と...

◆伊藤千代子さんは当時としては恵まれた境遇に育ちながら、なぜ、あのような生き方に向かわせたのは何なのだろうか...

◆土屋文明の影響が大きかったとは思えけれど、千代子さんの徹底した学習で意思を強くしていったのではないかしらネ!

◆女性の意志の強さを凛と演じている...映画の力つてすごいな—

◆拷問シーンなどは抑えた表現で、脚本がうまくて、本質は伝わってきた。

◆小林多喜二や野呂栄太郎

などの話はきいてよく知っていたけれど、女性のたたかいて初めて知った。

◆千代子は検事から夫の転向を告げられてショックのあまり「天皇陛下バンザイ」と、独房で叫ぶシーンに胸がつまされた。

◆当時の訴えに男女平等や労働時間の要求運動で弾圧されているシーンと今の社会と重なり、「昔の話ではなく今の話なのだ」と改めて感じた。

◆千代子さんが今の社会をみたらなんとおしやるかしらね...

◆また学習につながる映画があつたらまた観たい...

学習・つどい、 そして仲間ふやし!

7月23日(土)松戸市民会館において、学びのひろばにおいて「自由はこうして奪われた—治安維持法10万人の記録—」(NHK放映DVD)を視聴

(前ページのつづき)

と官僚たちは、なんら責任を追及されることなく、自民党の国会議員になり、小林多喜二虐殺に直接手を下した中川成夫は、戦後東京都北区の教育委員長に就任。さらに特高の多くの部分は、特高の存続・再生を狙ってつくられた各県の警察公安課へと転進していること。そのことを物語るのが、アベ・スガ政権で官房副長官の杉田和弘氏のおこなったことが「学術会議委員の任命拒否」へとつながっていることを紹介しました。驚きの声が上がりました。参加者の関心を集めました。そこでミール支部長は、平和

朝顔(アサガオ)

夏の風物詩、朝顔。

日本への伝来は、奈良時代末期に遣唐使が種を薬として持ち帰ったものが初めてだそうです。



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

学びのひろばへ ようこそ

DVD上映
自由はこうして奪われた
治安維持法—10万人の記録—

★お茶タイム
★自由討論&交流
★1年間の報告と今後に向けて

松戸市民会館
「学びのひろばへ、ようこそ!」

し、お茶とお菓子付のリラックした学習の集いを行いました。ミール計恵支部長から「治安維持法同盟の運動について」講演や質問や意見交換が活発にされ、治安維持法体制のゆがみについて、「ちば民報」第2035号、2022年7月17日付、治安維持法犠牲者たちの声が聞こえる、を参考に戦後、特高警察

(次ページにつづく)

映画「わが青春つきるとも」 —伊藤千代子の生涯— 上映会での感想文

◆若くして、信念をつらぬいた女性がいたことを知り、戦争中に平和の為に声をあげるのとが、こんなにもそうぜつな事だったのかと改めて感じました。優しく、強く、気高い千代子さんが存命していれば、世の中の為に多くの働きをしていたらうに、無念だったろうと思います。改めて戦争をさせないように、その流れを作ってはいけないと感じました。

◆切なくなつた。

◆約100年前の話とはいえ、時代の波に狂わされそうになりながらも、自分に正直に生きて行つた千代子の心にすばらしいと思つた。千代子を裏切つた浅野が理解出来なかつた。とても情い気持ちになつた。それぞれの生き方に、口を出す事は出来ないけれど、私自身心の心にも熱い思いがこみ

上げてきた。それと同時に、これからの未来に明るい希望があると言う事を信じて生きていきたいと思ひました。ありがとうございました。

◆きびしい映画でした。特高警察の弾圧・暴行に負けず闘つた人々、すばらしいと思ひます。再びこの様な社会にならないよう、正しい政治理念が必要と思ひます。

◆強い女性。勇気をもらいました。

◆恐ろしい時代を改めて実感した。伊藤千代子さんの生涯を知ることが出来てとても良かった。感動しました。重く受けとめて、後世につないでいきたいと思ひます。

◆昭和16年生まれですが、初めて知る事ばかりで、今日からも勉強になりました。これからは関係資料をさがして、もっと勉強したいと思ひます。恥ずかしいです。

◆良かったです。画面は小さくて迫力はなかつたが、演技も

(次ページにつづく)

(前ページのつづき)

そう上手ではなかったが、しんしな姿勢が感じられた。(主役の女優)

◆父と母を思い出しました。

◆久しぶりに感動を受けた映画でした。戦前にかような不屈の精神で、民衆のため労働運動に身を投じた女性達が多く居るとは知りませんでした。心から敬意を表します。とくに信州・長野県、また東京女子大の学長の考え方(先駆者的思想)は、どこから来るものか感動した次第です。

◆最後の「病院で死にたくない」と言いながら亡くなるシーンでは、号泣しそうでした。

◆伊藤千代子の映画、私だったらどうしよう、と考えながら観させていただきました。こちら側の映画はあまり面白くないと思つて観たことがないのですが、今回は面白かったです。次回「ひまわり」の取り組みがあつたらいいな—と思つております。そうなたらまた連絡をお願いします。

◆千代子さんの学費を返せ！女性が犠牲になる運動は否定します。実話とは言え現代に合っていない。まずは命と女性の人権を大事にして下さい。美談にしてはいけないと思います。

◆知ることができたことは良かったです。

◆なんと強い信念をもった人かと感動しました。

◆ずっと昔のことといたいが、今と全く変わっていませんね。日本は、反省もしていないし、同じように戦前に戻っているように、絶対に許してはいけません。その想いを強くしました。

◆あの時代と、かたづけられないことですね。今も同じようなことが、油断すると。

◆治安維持法で命を落とした千代子の生涯、悔しい思いでいっぱいです。平和のたたかいの声を大きくしていかなければと思いました。

◆改めて映像を通し、千代子さんの生涯を振り返り、その精神に励まされるとともに私

もその精神をつないでいきたいと思いました。

◆こころざしを少しでも受け継いでいけるような生き方をしたいし、そのこころざしをもちたいと思います。

◆とにかく感動しました。観てよかったです。

◆想像を超える良いすばらしい映画でした。

◆私だったらどうしようと考えるながら観させていただきました。

◆大変な時代だったこと。特高が生き残っていることは、よく知りませんでした。今、その被害が残っていることが勉強してわかってきたところです。良い映画でした。

◆活動するためには外の社会に出なくては何もできない。何故、入所仲間と話し合つて「嘘も方便」転向したかに見せて社会に出て信念に基づいた活動をしなかったのか？革命のためにはもつと賢く行動することも重要と考えました。本当に信念を通すには伊藤千代子

の生き方には賛同できません。

◆この映画ができたことに感動の一言です。

◆憲法改正がいわれている。意見が言いにくい、声が出しにくくなっている。きな臭くなっている頃、この映画は他人ごとではなくなってきた。

◆伊藤千代子とその歴史背景は伝わりますが、今の世代の心に届くでしょうか。映画の感性としては古いですね、5、60年前の感覚でしょう、残念です。

◆権力の圧力がすごい。千代子さん、えらかったね！

◆辛いシーンもあり、目をおおいたくなりましたが、刑務所内の連帯のたくましさに励まされました。とてもいい映画です。多くの人に観てほしいです。主役の女優さん、とても素敵でした。

◆女性への拷問は、もつと卑劣なこととされたのでは、女性の力強さがわかりました。

◆すぐくて、ただ涙でした。

読者の文芸

短歌

銚子市 真久絢子

・憲法と同じく我も生き延びて七十五才の赤飯を炊く

・舗装路を行く時思ふこの下に敷かれし小石の数多在ること

銚子市 三浦好博

・我もまた虹に振り向く受け入るる多様性とふ

美しきもの(LGBTQ)

・太陽が膨れて地球の運命と借財膨れて日本のそれと

・無蓋車に豚並の旧日本兵思へど疲れし兵の行く先

(以下護送されるウクライナ兵捕虜の歌)

・侵略者に抵抗せしが生きてゐる捕虜は

恥ずかしと誰が言ふものか

・戦時捕虜は生かして帰すものなるに

無法侵略の生け贄許さじ

ひまわり(向日葵)

この写真は、銚子の三浦眞清さんの作品です。三浦さんの家の真向かいに、このひまわり畑が広がっているという。なんともうらやましい。このひまわり畑をみると、イタリア映画の名作「ひまわり」を思い出します。

第二次世界大戦後、ソ連戦線にいった夫を探して冷戦下のソ連に単身で乗り込んだ妻(ソフィア・ローレン)。戦場で死んだ兵士の墓を訪ね、延々と続くひまわり畑をさまよう。探しあてた夫は、ロシアの娘と結婚し子どもがいた。戦争によって引き裂かれた悲劇。

この映画が撮影されたのは、今まさに激しい戦闘が続いてい

るウクライナ南部のヘルソン州。ひまわりの花はウクライナの国花で、いまロシアの侵略に抵抗する象徴になっているという。

(写真・三浦眞清、文・七里一司)



山宣没後72周年記念講演

(2001年3月5日)

『山宣と』

治安維持法』

(12)

歴史学者・一ツ橋大学名誉教授

浜林正夫

(1925年12月25日)

2018年5月19日

私は労働者教育協会という所の仕事もしていますので、山宣の労働者教育についての考え方というものにも、大変興味を持っています。それを見ますと労働者教育というと、科学的社会主義の知識を教え込むのが教育だみたいな考え方があります。山宣が労働学校の任務というものを書いていますが、それは労働者が世の中の矛盾を感じて、その矛盾をどう解決するかということを探っていく、知識人というのはそれを助けるものなんだというこういう位置付けで、私はこ

ういう位置付けのほうが正しいと思います。知識人が労働者に向かつて、教え込むというのではなくて、労働者自身の努力を助けるのです。

科学と機械によつてのみ

労働者階級も

解決される

それからもう一つは、山宣が言っているのではなく、安田徳太郎が言っているんですが、科学と機械によつてのみ労働者階級も解放される。これが山宣の労働者教育の持論だった。つまり、労働者というのはややつと、労働者というのはややつとすると特に資本主義の初期の頃には機械に反発する、機

械が入ってくると自分達が首になるからと言って、機械に反発する。或いは、科学というのはブルジョワ的なものだといって信用しない。こういう傾向があるわけですが、そうではなくて、科学と機械によつて労働者は解放されるんだと、こういう立場をとっていました。

レジュメのうしろの写真にもありますが、山宣の筆跡があります『労働者・農民の政府を通して 労働者・農民の科学』と書いているんですね、私はこれ大変ユニークだと思うんですが、普通だと『労働者・農民の政府を作れ』みたいなスローガンになるわけですが、政府を作つて何をやるのか、それは労働者・農民の科学というものを作っていくんだという捕らえ方をしている。これはなかなか面白いと思う。

彼の話は、先程も中西さんからも『三尺の猿』という話がありました。大変ユーモラスで例えが上手で、評判がよかった。学者仲間からはバカにされた

(次号につづく)

